

文責はいずれも本人です。

●本市の防災における災害時の危機管理について  
●本市行政庁舎内における空調管理について



山内 貴史 (新波クラブ)

Q 市道における道路管理者として、カーブミラー等の道路附属備品の点検を近隣自治体も台帳管理のもと整備をしているが、本市も位置の把握、管理番号を付与し効果的な維持管理の整備をしていただきたく見解を伺う。

副市長 効率的な管理のため、台帳の整備や点検は重要であると認識している。道路附属備品の位置情報については、業務の効率化や省力化を図るため、今進めているDX推進計画に沿って、業務や台帳のデジタル化を進めている。中々後取り組めないか、検討したい。

Q 大規模災害で地域の停電が長期化している避難所が必要。自家発電設備が整っている大きな避難所以外に、本市指定の避難所にも、簡易の発電設備の設置など対応することはできないか。

総務部長 自家発電装置の設置されていない避難所については、屋内使用の非常用電源となる蓄電池を設置する方向で検討をしている。

Q 令和2年度の台風で平戸市の大野浦地区の農地海岸(県が海岸管理者)に流木等が堆積。その際に県は対応できずに、地元で対応した案件があるが、

多量の漂着物を荷揚げするにしても、処理能力に限界があると感じる。せめて産廃処理費については、要請があれば県と協議し、合意形成を取りながら、有事の際に地元の皆様が困惑しないように対応を求め、見解を伺う。

統括監 県北振興局の農林部長等々と市の幹部職員の間で意見交換会を実施。今後しっかりと海岸管理者としての責務を果たしたいという誠実な回答をいただいた。

市長 この度7月、長崎県農地海岸保全協会の会長に就任。護岸整備や干拓地と農林水産省への予算要望の活動が主な仕事だが、今後農地海岸への漂着物、障害物、災害からどう保全するかを県の課題として取り組んでいく。

Q 温暖化により、庁舎内の温度設定や使用時間を見直すべき。訪れる市民の皆さんの快適さ、職員の健康管理・業務の効率化や生産性の向上を図ることも必要だと提案するが見解を伺う。

市長 基準の温度設定にこだわりすぎることと生産性が落ちることにならないよう、また市民サービスの観点からも柔軟な対応を採用し、快適な職場環境になるよう努めていく。

●2年間の一般質問から回答保留事項を洗い出す



近藤 芳人 (新波クラブ)



Q 市政懇談会をネット視聴できるようにできないか。

市長 次回開催時はネット視聴もできるようにしたい。

Q さまざまな行政サービスをスマホで完結できる仕組みを作るべし。

総務部長 公式LINEを自治体アプリに位置づけ、充実を図る。マイナンバーカードの受取予約や水道の開閉栓申請などを本年度から始めた。手数料の収受が必要となる各種証明書の交付申請等も順次開始する予定。

Q 防災メールを拡張し、あらゆる分野の行政情報を配信可能にし、さらに市民側が個々に選択受信できる仕組みとすべし。

総務部長 公式LINEがその機能を有するので、利用登録者を増やして実現したい。

Q AED設置箇所や利用可能な時間帯などを地図アプリでわかりやすく周知すべし。

総務部長 ご提案を受け、マップサイトへの掲載に向け作業中。リンクを本公式LINEで周知したい。

Q 平戸市は「市のUターン補助金を受けた人/世帯」の数を「Uター

ン者/世帯」と表現している。本来は「自らの意思で平戸市に移住し定住した人/世帯」を見える化し、その数を伸ばすのが移住政策である。「すべての転入者/世帯」の中で国保取得者を数えれば概数は把握できる。

財務部長 ご指摘の通り。今後、その定義でUターン者数の把握を行う。

Q 若者の移住に直結する「賃貸入居の優遇策」がない。本市は他市の運用事例(転勤族支援になる/家賃の便乗値上げなど)を理由に消極的だが、国保の方、空き家バンク経由の賃貸住宅限定にすれば問題も解消する。

財務部長 ご指摘のように検討する。を増やすことは大事だが、原価の内訳分析が必要される。

文化観光商工部長 地域効果の参考指標となるだろう。商工団体とも協議し、抽出調査を行いたい。

Q 地域に必要な事業をやってくれる人をその地域で育てる手法が有効だ。地域需要と供給(移住希望者)をマッチングさせる機能が求められる。文化観光商工部長 各担当課一体となって調整を進めたい。

●持続可能な移動手段の確保は喫緊の課題  
●動物の愛護精神にのっとった能動的な取り組みを



針尾 直美 (新波クラブ)

Q 北部地区を拠点とするタクシー会社が廃業した。「移動手段の確保」は健康で文化的な生活を送ることが可能な地域・今住んでいる地域を残すためにも必要である。地域の公共交通を守る役割を担う行政として、その対策をどう考えているか。

総務部長 今回のタクシー事業者の撤退を受けて、今後、各交通事業者の考えを聞くとともに必要な施策について国県をはじめ、関係者と意見交換を行い、市として何をすべきか、しっかりと検討していく。

Q 交通事業者と連携を図る場や課題、問題などを協議する場は設けられていないのか。

総務部長 市内公共交通の環境整備に関する施策や事業を効率的に進めるため、平戸市愛のり交通活性化委員会を組織し、年に2回ほど協議を行っている。各交通事業者も委員会の構成メンバーとなっている。

意見 これまでにはなかった取り組みを行わなければ移動手段の確保は難しい。今ある公共交通を維持する努力と共に、地域の移動サービスを総動員し、総合的に持続可能な移動手段を確保し

●水産振興について  
●農林畜産行政について



神田 全記 (新波クラブ)



Q 漁業における環境変化や水産資源の減少等の課題に向けた取り組みが重要だ。また、原発処理水の海洋放出による中国の輸入禁止を受け、漁業者の不安をどう受け止めているか。また、農業において物価高騰の影響をどのように捉えているか。

市長 中国の輸入禁止については、国の方で大胆な予算編成と支援をしないと聞いており注視している。農業への支援は6月補正で計上した高騰対策支援事業により速やかな農業者の負担軽減に努めていく。

Q 水産振興を図る中で、漁業者を市全体でどのくらい必要と考えているか。総合計画の目標値では毎年8人。実績は5人を切っている状況だが。

農林水産部長 令和3年度は8人の実績。総合計画に掲げた新規就業者数を目標に就業者の確保に努め、支援を講じた。

Q 担い手確保のための事業は。農林水産部長 水産業支援フェアを行い出展者のサポートに努めている。また漁業就業実践研修、漁業定着支援研修、漁業就業希望者事前実地研修(市単独事業)を行っている。

ていくという視点で検討していただきたい。

Q 犬猫の殺処分が全国で最悪レベルにある(非常に多い)本県は、殺処分ゼロを目指す「長崎県動物愛護及び管理に関する条例」を制定したが、それを踏まえ、市ではどのような取り組みが行われているのか。

市民生活部長 苦情や相談が市に寄せられた場合、内容や状況を聞き取り、所管となる県北保健所の担当者と連携して現地での立会いを行うなど適正な管理に向け個別指導を行っている。

Q 飼い主のいない猫への餌やりに関しては、地域猫活動という選択肢もある。活動にはボランティア団体が必要。ボランティア団体の育成などに取り組む考えはないか。

市民生活部長 動物愛護の推進に関する動物愛護ボランティア団体の存在は、非常に有意義であることは承知しているが、まずは、終生、適正飼養を行うことや動物に対する感情や感覚は人によって多様であることへの理解促進など行為規範の徹底に向けた普及啓発を行いたい。

Q 漁村地域活性化にも努めてほしいが、浜の活力再生プランはいかに。

農林水産部長 各漁協が主体となる事業で、それぞれ現状が違うので目標も異なっているが、支援をしながら目標達成に向け努力する。

Q 市内の藻場の状況と取り組みは。農林水産部長 根付資源への影響は深刻。関係者で組織する団体が種苗投入など保全活動を行っている。

Q 物価高騰は漁船エンジンの載せ替えにも影響している。エンジンのオーパーホールに対し支援できないか。

農林水産部長 市で組織する水産振興協議会の見解もいただきながら、どういったものが独自支援として可能なのか考えていく。

Q 畜産においては、子牛販売価格の下落が深刻である。生産部会とも協議したと聞いているが対応は。農林水産部長 生産部会にどういった支援が必要かヒアリングを行っている。県と連携しながら支援に向けた取り組みをしたい。

Q 今後の産地づくりは。市長 高齢母牛の更新に対する要望を受けており、制度設計を考えたい。